

2017年7月20日

鹿児島大学病院 脳神経外科 で

核医学検査を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

てんかん診断における核医学検査の有用性に関する検討

【研究機関】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

講師 花谷亮典

【研究の目的】

てんかんの原因となる部分(てんかん原性領域)の周辺では、発作が生じていない状態では、神経興奮を抑制する機能が低下していると同時に、慢性的な脳機能不全状態にあります。SPECTやPETなどの核医学検査ではこうした状況を評価します。よく用いられる核医学検査として、ベンゾジアゼピン受容体、脳血流、糖代謝を評価する方法があります。さらに、脳腫瘍や炎症の評価が可能な検査もあります。

てんかんの診断は頭蓋内電極を含めた発作時の脳波検査が非常に重要ですが、発作が生じていない状態でてんかん原性領域を正しく評価できれば、それに越したことはありません。核医学検査は基本的に発作が起こっていない状態で検査を行いますが、正しい局在診断がどのくらい可能かについての検討は十分には行われておらず、今後の解明が期待されています。本研究は、適切な核医学検査の選択基準の確立を目的としています。

【研究の方法】

後方視的にそれぞれの核医学検査の診断率を確認し、複数の核医学検査によって診断率や治療転帰が向上するかを検討します。さらに、てんかんの発作型や原因となる疾患によって推奨される核医学検査が異なるか、他の解析法や検査法との比較、手術症例ではその転帰などについても検討を加えます。本研究は藤元総合病院との共同研究を行います。

【対象となる患者さん】

2000年1月1日から2022年2月28日までに、鹿児島大学病院脳神経外科で、てんかんと脳腫瘍の診療に関連して核医学検査を受けられた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

診断病名、診断に関する画像検査、術中写真を含めた手術記録、症状の経過

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、公的研究費（学術研究助成基金助成金）並びに、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

講師 花谷亮典

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041